

第18回植物園シンポジウム  
ふるさとの植物を守ろう

ナショナルコレクション

# 守りつなぐ、 江戸園芸

古来より日本人は野山の花を愛で、

日本独自の多様な園芸品種を作り出してきました。

これらは生きた美の文化財でもあり、遺伝資源としても貴重です。

本シンポジウムでは、江戸園芸を通じて、植物の多様性、

栽培や観賞作法などの文化を含めた魅力を知り、

未来に受け継いでいくためにできることを考えます。

2020年4月26日(日)  
13:00~16:30

会場 神代植物公園 植物会館2階集会室  
(東京都調布市深大寺元町5-31-10)

参加費 参加無料(別途入園料が必要)

定員 70名(先着順・申し込み方法は裏面参照)

主催 公益社団法人日本植物園協会

共催 公益財団法人 東京都公園協会

第1部 江戸の園芸植物を守る

第2部 江戸の園芸文化を知る サクラソウ展示見学会

意見交換会 (17:00~18:00)

マツバラン  
雲龍獅子



サクラソウ唐衣



マツバラン  
楊枝文龍山



サクラソウ  
酒宴の床



マツバラン古金蘭  
(鉢/阿波八須賀家蔵オランダ)



マツバラン風凰柳



マツバラン青龍角(鉢/尾張藩御庭焼)

